

評価計画				令和6年度 昭島市立富士見丘小学校 学校評価報告書 （学校経営計画・学校評価シート）										R7.2.28				
学校教育目標	○ よく考える子 ○ けんこうな子 ○ すすんで働く子 ◎ 思いやりのある子	教育ビジョン	【目指す学校像】	職員が組織的に協働して、児童が主体的に活動し、生涯学習の基礎を確実に身に付け、家庭・地域の信託に応える学校						学 校 像		児 童 像		教 師 像				
			【目指す児童像】	未来の創り手として、自ら考え、創造力・表現力に富み、互いを尊重し人の為に尽くす、心身共に健康で活力に満ちた子供						垣根のない学校		子供は未来の守護者		仰げば尊し我が師の恩				
			【目指す教師像】	児童・保護者・地域の願いを受け止め、熱い心と志を持ち、変革に臆することなく、使命と役割を遂行し、結果に責任を持つ教師														
前年度までの 学校経営上の成果と課題			令和5年度 評価報告書	<成果>教職員が丸になっている様子が伺えます。学校が年々とても良くなり、うれしく思います。探究学習やICT等の活用に積極的に取り組んでいて、探究発表会も充実していました。今後もっと子供たちが力を付けて、成果が出てくると思います。 <課題>学校で嫌なことがあるなど友人関係で時々訴えがあります。でも尾を引かないので、折り合いを付け、対応できる力やすべが身に付いてきているのかと思います。地域に外で遊ぶ子供が少なく、放課後の校庭開放等、環境を整えてほしい。														
教育委員会 基本方針	No.	学 校 経 営 方 針（教育課程）		学校経営目標(具体的な施策)		評価指標・評価基準 A基準:9割達成 B基準:8割達成 C基準:7割達成		自 己 評 価 保護者・児童・教職員の総合評価			学校関係者評価 学校関係者評価委員の評価		評価結果を踏まえた					
				中期経営目標 (25の目標)	短期経営目標 (50の施策)	取組指標 数値無しは100%を示す	成果指標 数値無しは100%を示す	取組	成果	成果と課題	評価	コメント	次年度の改善策					
信頼される 教育の確立	1	学校の組織力 と学校運営	校長が精度の高い地図と羅針盤をもって明確な経営方針を示し、全職員が経営参画できる同僚性と協働性を高める。	職責に付加価値を付け協働して遂行する組織を構築する。	学校経営方針を全職員で共有 全職員が役割・目標を遂行	各自の自己申告書に明記 プロジェクト方式で遂行	25の目標…9割実行 50の施策…9割達成	4	4	○組織的な学校力が向上 ●職層に応じた経営参画	A	先生方が一つになって、良い方向に進んでいると思います。	[月・水・金の6校時]等の時間を活用して学年担任制を推進する。					
	2	安全管理 危機管理	安全を全てに優先させ、危険予知・未然防止、安全管理・危機管理を徹底し、安全で安心な学校生活を保障する。	常に最悪の状態を想定して未然防止、初期対応を期す。	防災・危機対応マニュアルの周知徹底 児童の危機管理能力の向上	教室内鍵等の危険回避措置 看護当番の徹底…100%	児童・保護者への指導・啓発 重大事故発生…0件	3	4	○日常の危機管理が徹底 ●危機回避能力の育成	A	子供たちの安全確保のために、手を尽くしていると思います。	[朝読]で1日を心穏やかにスタートする。 [教室の内鍵]を設置する。					
	3	学校公開 情報発信	学校行事や学校公開日などの機会を多く設けるとともに、学校方針や活動状況など、有用な情報を積極的に伝える。	内容・方法・形態等を工夫して多彩に公開・発信する。	学校HPや校長通信等の充実 オンラインやデジタル化の推進	校長の通信発行…年24回 学校HP…毎日更新	参観…年間1,000人 アクセス数…1日100回	4	4	○学校公開の充実 ●双方向の情報共有	A	学校便りやホームページなど、学校の方針がよく分かります。	[毎日が学校公開]の感覚で、教育活動の公開、対話と協働に重点を置く。					
	4	カリキュラム マネジメント	教科横断的に各教科等の教育内容を相互に関連付け、配列し、6年間を見通した教育課程全体を往還させる。	育てたい子供像を明確にし、教育課程全体に関連付ける。	教科等を関連付けた指導計画 総合的な学習の時間の改革	探究6年間の指導計画策定 探究発表会実施…全学年	年間指導計画実施…9割 発表会で達成感…9割	3	4	○探究カリキュラム改善 ●探究学習の改善・充実	B	道徳や色々な学習がしっかりと結び付いているような気がします。	生活科と探究のカリキュラムを改善し、 [6年間で系統的に育成]する。					
	5	共にある教育 の実現	積極的に学校公開・情報発信を行うとともに、アンケートや個人面談、学校評価を有効に活用し、教育活動を改善する。	未来の守護者を育てる教育課程を地域とともに作る。	きめ細やかな意思疎通の推進 評価結果を踏まえた教育課程	行事毎のアンケートメール 改善案の立案…年末	保護者回答率…100% 肯定的評価…9割	4	3	○保護者に寄り添う運営 ●外部人材をもっと活用	B	保護者の方に実施していることを地域にも広げたらよい。	[挨拶][靴の踵を揃える][足育]など家庭とともに凡事徹底を継続する。					
	6	教員の人材育成 研修の充実	全ての教育を通して、ICT活用、言語活動、探究学習を展開し、児童の納得解を導く力を高められる教員を育成する。	新たな解を創造する児童を育成する授業力を向上させる。	課題設定を明確にした授業改善 OJT・ミニ研修による授業力の向上	年6回の授業観察…全教員 授業観察の事前・事後指導	保護者回答…9割 肯定的評価…9割	3	3	○理解・信頼の深まり ●相互補完的に協働する	B	先生方が常に学んでいる御様子で、良いことだと思います。	[相互補完的に役割分担]して、全ての大人が互いに当事者となる。					
	7	働き方改革 の徹底	全職員が、働き方改革の意義を理解し、野球型からサッカー型の職務行動へと変革し、個が自律した組織とする。	働き方改革推進プランを策定し、教育の質を向上させる。	残業時間毎月30時間以内 電子化による校務の効率化	月金5時間・水4時間授業 欠席連絡・通知文等の電子化	残業30時間以内…全教員 週1回定時退勤…全教員	4	3	○児童と向き合う時間増 ●真に執拗な職務に厳選	A	夕方になると電話もつながらず、不安になることもあります。	柔軟な教育課程で[月・水・金の6校時]など児童と向き合う時間を確保。					
	8	ワンチームで ビジョンを共有	通常級、専科、さくら学級、きこえとことば、大空教室、事務職員等、すべてが同一のビジョンを共有する組織とする。	内に開かれた教育を実現し、ワンチームで運営する。	教員同士の意識改革・一枚岩 児童同士の垣根を取り除く	職員室の一体化・座席配置 教員の交流授業…全教員	各自の目標達成…9割	4	3	○人事交流・授業の充実 ●特色や特質を生かし合う	A	学年担任制になるということで、益々一つになると思います。	通常級・さくら・難言の[人事交流][交流授業]を推進しチーム力を高める。					
確かな 学力の定着	9	学習習慣・ 学習規律の定着	自ら学びを生かそうとする主体的に学びに向かう力を涵養するとともに、学習習慣を確立する。	「学びのすすめ」「自主学習ノート」「寺子屋」の推進。	授業・補習と家庭学習の一体化 自ら学びに向かう姿勢の涵養	寺子屋充実…9割実施 自主学習ノート…週1回	寺子屋の満足感…8割 学年×10分の達成…8割	3	3	○推進プランを改善充実 ●自主学習の推進	B	生活習慣の乱れが、家庭学習の定着を阻害している。	[自主学習ノート]と[学びのすすめ]の核として、学習習慣を定着させる。					
	10	基礎・基本的な 学力の定着	実際の社会や生活で生きて働く基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得する。	学力の把握・検証に基づき授業改善を推進する。	指導と評価の一体化の推進 板書や発問する技術の向上	授業改善推進プラン改善 習熟度別学習の拡大充実	診断シート…5割以上 授業が分かる…8割	4	4	○個別最適な学び ●板書構成の工夫改善	A	誰一人取り残さない、個に応じた指導を一層重視してほしい。	[学年・教科担任制]の導入により、すべての授業の質を向上させる。					
	11	新たな価値を 創造する力	創造力・表現力に富み、正解のない課題に納得解を導き、新たな価値を創造することができる資質能力を育成する。	他者と協働し、学ぶ楽しさ、学びに向かう姿勢の向上	探究ノートの効果的な活用 自ら考え判断し表現する学習	探究ノートの活用・充実 課題解決学習…全教科	主体的に課題解決…8割 意欲的に課題解決…8割	3	3	○主体的な学びの充実 ●新たな価値の創造	B	児童が主体的に学びに向かう授業スタイルが定着してきた。	[ふじみ探究の日]を核として、探究的な学習を一層深めていく。					
	12	外部人材 ICT活用	各教科等で外部人材やICTを効果的に活用し、児童の興味・関心を高め、自ら学ぶ力や学び合い教え合う力を付ける。	授業そのものを改革することにより学力を向上させる。	外部人材を有効活用した授業 授業でICTを効果的に活用	外部人材を活用した授業 タブレットを活用した授業	授業が楽しい…8割 ICT活用に満足…8割	3	2	○ICT、オンラインの有効活用 ●対面での外部人材の活用	C	いろいろな先生と交流できる機会が多くて良いと思います。	[外部の専門家]や[オンライン授業]の利点を生かし最適な学びを構築。					
	13	ユニバーサル・ デザイン	ユニバーサル・デザインによる分かりやすい授業、やさしい授業、個に応じた指導の工夫に努め、適切な支援を行う。	児童にやさしい教室環境、学習環境、授業を実現。	児童にやさしい教室環境整備 児童にやさしい授業を実践	すっきりした教室環境 分かりやすい授業展開	教室の居心地…8割 授業の満足感…8割	3	3	○わかりやすい授業に尽力 ●UDを重視した授業改善	B	一人一人に応じたきめ細やかな支援を今後もお願いします。	ICTやUDを活用した[分かりやすい授業スタイル]で効果的に指導する。					
豊かな 心の醸成	14	自己有用感の 醸成	一人一人の個性を生かし、相互の信頼関係を深める中で、自己の存在価値の認識等、自己有用感を高める。	自己有用感を高め、児童が個々のよさを発揮できる。	QIを踏まえた特別活動の充実 異年齢集団の活動の推進	学級会・異学年交流の充実 人権週間・人権集会の充実	社会通念上いじめ…0件 自己有用感が向上…8割	4	4	○穏やかな学校生活 ○自己有用感が向上	A	毎日、子供たちの笑顔があふれる楽しい学校になった。	ふれあい月間の「命の授業」、WebQIなど豊かな関係性を醸成。					
	15	認知機能・ 社会性の向上	コグトレ等で認知機能を高め、感情統制、対人スキルを養い、自他共に敬意をもって関係する力を付ける。	自他ともに大切にできる豊かな心情を育成する。	認知機能や感情統制の支援 やりぬく力、辛抱する力の育成	自己有用感を図る特別活動 意図的計画的なコグトレ	認知機能等が向上…8割 他者との関係が向上…8割	4	3	○自他を認め合う意識 ○コグトレが多彩に充実	B	コグトレや学校行事を通して、心の交流が充実している。	認知-感情統制-対人スキル等、社会性を[コグトレ]で育成する。					
	16	内面に根ざした 道徳性の涵養	人権尊重の精神を基調に、自他を大切にし、共によりよく生きるために、児童の内面に根ざした道徳性を育成する。	問題解決的あるいは体験を通じた発問構成の工夫。	広い視野で考え議論する道徳 内面に根ざした道徳性の涵養	考え議論する道徳…9割 命の授業の実施…全学年	自分事として考え議論…8割 自分事として振り返り…8割	3	3	○心が安定している ○思いやりの心が醸成	B	いじめがなく、安全・安心が守られていると感じる。	[考え議論する道徳]の授業展開、[人権集会]で豊かな心を育成する。					
	17	心の 居場所づくり	一人一人の居場所づくりや心に寄り添う相談など、不登校等、一人で悩みを抱えない相談体制を構築する。	様々な人と関わりをもち、悩みを話せるようにする。	全教員による個の支援・相談 SOSを出せる雰囲気醸成	共同担任制の充実強化 SOSカードの効果的な活用	大人に相談できる…9割 学級満足度…9割	4	4	○気楽に相談できる学校 ●SOSの出し方授業	A	より多くの目で見守る時間が増えて良いと思います。	[SOSカード][学年担任制]で、いつでも相談できる雰囲気を醸成する。					
健やかな 体の育成	18	新しい生活様式 の定着	手洗いの徹底、TPOに応じたマスクの着脱など、感染状況を踏まえた新しい生活様式の行動ができる。	全ての教育活動を通して全職員が健康管理に携わる。	新しい生活様式の定着 熱中症防止やアレルギー対応	学びのすすめの活用 熱中症等防止の徹底	1日の病欠…3人以下 学級閉鎖実施…0件	4	3	○感染防止の徹底 ●スマホ依存増加傾向	B	スマホ利用時間が極端に長く、生活習慣に支障が生じている。	[ノースマホデー]等、スマホやゲーム依存の対策を講じる。					
	19	体力・運動能力 の向上	基礎的な体力の向上と運動習慣、生涯に渡って積極的に運動に親しむ資質や能力を高める。	体力調査結果を検証・活用し、体育授業を改善する。	元気アップタイムの拡大充実 新しい上履きの推奨・足育推進	元気アップタイムの拡大 体育の授業の工夫改善	外遊び…週1回90% 運動が楽しい…8割	3	2	○運動習慣が改善 ●元気UPの活用を充実	C	すべての子供たちが運動に親しめるような方策が必要である。	元気アップガイドブックを活用した「元気アップタイム」を拡大・充実させる。					
	20	ストレスに対処 できる力	心と体の関連性を理解し、様々な欲求やストレス等に対して、適切に対処できる力を育てる。	学校いじめ防止基本方針に基づき、組織的に取り組む。	多様な対処方法を学ぶ機会の提供 家庭と連携した情報モラル教育	学級以外の児童支援 自殺防止授業の実施	大人に相談できる…9割 不登校傾向…3%未満	4	3	○ストレスのない学校生活 ○ふじみスマイル効果	B	ふじみスマイルで、安心できる居場所がまた一つ増えた。	[学年担任制]など、すべての子供にとって学校が安心できる場所とする。					
	21	健康管理 保健衛生	すべての子供たちが「一人にひとつの命」を自覚し、かけがえのない命を自ら守ろうとする意識と行動力を育成する。	健康教育・食育推進計画を改善、充実、徹底させる。	グッドモーニング60分の定着 食育の計画的な推進・充実	グッドモーニング…3回 お弁当の日の課題設定	グッドモーニング…8割 お弁当課題遂行…8割	4	4	○健康管理が徹底 ●家庭への啓発・徹底	A	先生も一緒に班で食べていて、いいなと思います。	[学びを止めない]ために[すべての命を守るを第一義とする]を徹底する。					
輝く未来に 向かって	22	言語力 の向上	学校図書館の機能の充実を図り、言語能力とともに、未知の課題に向き合い思索する力を育成する。	学校図書館活用を中心に、言語活動を充実させる。	学校図書館活用の推進 短作文・読書感想文の指導充実	図書館活用授業…全学級 書くことの指導…全学級	言語力向上…8割 短作文・読書が好き…9割	3	4	○学校図書館の活用充実 ○語り合い活動の充実	A	学校の様々な場面で読書をしていたり、本を活用している。	[短作文][読書感想文][調べコン][思索コン]のつながりを重視する。					
	23	情報活用力 の向上	1人1台端末やオンライン活用を含め、情報活用力を育成するとともに、新たな解を創造する力を醸成する。	見方・考え方を働かせながら思索する場の充実。	1人1台タブレットの効果的活用 プログラミング教育の推進	教育の情報化…全学級 プログラミング…全学級	情報活用力向上…8割 論理的思考力向上…8割	3	3	○探究ノートの改善 ○探究学習の深化	A	MESHを活用して、子供たちの興味関心がすごい。	[MISHプログラミング]を活用してプログラミング的思考を深める。					
	24	国際社会で 活躍できる人材	日本人としての誇りを持ち、多様な文化を尊重し、世界と協調し、国際社会で活躍できるグローバル人材を育てる。	家庭や地域と連携協働した自己実現への手立ての充実。	思索コンテスト指導充実 調べる学習コンクール指導充実	自分事として思索…8割 調べるコン指導…全学級	自分事として思索…8割 主体的に探究活動…8割	3	4	○縦割り班活動の充実 ○各種賞の上位入賞	B	秀でている子供の成果が認められ、全体に波及している。	[未知の課題に対峙する力]を育成する機会を意図的に設定していく。					
	25	特別支援教育 の推進	校内外の垣根を外し、障害のある児童の自立や社会参加に向けた視点に立った指導及び支援、合理的配慮に努める。	校内委員会を中心に共通理解の元、一人を全員で支援。	特支リーフレットによる啓蒙 SSWと連携した校内委員会の充実	リーフレット改定…当初 校内委員会…月2回	特別支援教育の理解…8割 垣根のない学校の実現…8割	4	4	○校内委員会の活性化 ●垣根のない学校づくり	A	本当の意味の垣根のない学校になると思います。	誰一人取り残さない、誰もが居心地よく過ごせる「垣根のない学校」を目指す。					